

## 第9節 渡良瀬遊水地課

### 〔総括概要〕

渡良瀬遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、普及・啓発、環境保全・利活用、藤岡遊水池会館及び渡良瀬遊水地ハートランド城に関することである。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会など庁外の各種会議に参加し、関係自治体及び関係団体との連携、交流を行った。

渡良瀬遊水地の普及・啓発については、ラムサール条約登録記念日を中心としたPR活動の実施、公式ツイッター等を活用し、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に親しみを持っていただけるような事業を行った。

環境保全については、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査として、植物の現地調査を行った。また、希少植物保全のための外来植物除去活動やヨシ・オギを主体とする湿地環境保全のためのヨシ焼きを実施した。このほか、周辺に飛来するコウノトリの定着をめざすため、生息地環境の整備を行った。

利活用については、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成としてボランティアガイド養成講座の開催と渡良瀬遊水地ガイドクラブの支援等を行ったほか、環境学習やスポーツなど渡良瀬遊水地を活用したイベントを新型コロナウイルス感染対策に配慮しながら実施した。また、渡良瀬遊水地の様々な資源や環境の保全に取り組む“守り人”として行動し、未来につなげる活動を推進するため、会員組織のファンクラブである渡良瀬ナイツクラブの運営を行った。

また、ラムサール条約登録10周年の節目の年に、ワイズユース事業の一環として、渡良瀬遊水地及び渡良瀬遊水地ハートランド城を「恋人の聖地」として申請し選定された。

### ラムサール推進係

#### 1 渡良瀬遊水地に係る企画・調整

##### (1) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

国内のラムサール条約登録湿地関係市町村で組織する「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において、会長市として令和4年度市町村長会議及び第13回学習・交流会を栃木市及び渡良瀬遊水地を会場として開催した。

##### (2) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会代表、治水団体、利用する団体、環境保全等を行う団体など46団体で構成する「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」において、ラムサール条約登録10周年記念シンポジウムの開催や記念パンフレットの作成等を行った。

また、協議会の下部組織である部会では、栃木市が部会長となっている「賢明な利

活用及び地域振興検討合同部会」において、ラムサール条約湿地登録10周年記念シンポジウムにおける「渡良瀬遊水地宣言」及び「登録10周年記念パンフレット」等の検討を行った。

(3) 地域おこし協力隊活動事業

地域おこし協力隊員を1名委嘱し、渡良瀬遊水地の様々な役割と魅力を貴重な地域資源と捉え、各種団体・企業・地域住民と連携して、新たな魅力や地域資源の発掘や交流人口の拡大につながるよう下記のプロジェクト等の企画・運営を行った。

- ・ 渡良瀬遊水地と周辺地域をつなぐ情報発信
- ・ 三県境社会実験「おもてなしテラス」及び「若返りプロジェクト」
- ・ 絶滅危惧植物を守れプロジェクト
- ・ 渡良瀬遊水地のヨシを活用した新商品開発等

2 藤岡遊水池会館管理

(1) 施設管理

建物、駐車場及び施設内設備・物品の維持管理を行った。また、市民交流の場として、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が運営する渡良瀬遊水地湿地資料館と連携して情報発信に努めた。

(2) 施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に事務室として貸し付けている。

なお、8月17日から10月14日まで空調設備改修工事のため利用を休止した。

ア 大会議室の利用状況

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
202	3,565	111,550

3 渡良瀬遊水地の環境保全

(1) 渡良瀬遊水地クリーン作戦

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(2) 希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を保全する必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、希少植物保全のための外来植物等除去活動の参加者を募り実施した。

実施日	場所	人数	保全植物
4月26日(火)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	10人	ノジトラノオ
5月14日(土)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	100人	アゼオトギリ他
6月25日(土)	渡良瀬遊水地 第2調節池内	130人	ミクリ他
7月4日(月)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	10人	ノジトラノオ
9月17日(土)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	180人	アゼオトギリ他

(3) 渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

渡良瀬遊水地は国指定の絶滅危惧種を含む希少植物が多く生育する豊かな自然環境にあるが、その生育環境が悪化している場所も見受けられる。そこで、ラムサール条約湿地登録後の生態系調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供するため、生育の状況や環境についての必要な調査をし、生育位置図などの資料を作成する業務を委託により実施した。

(4) 環境学習池の維持管理

谷中湖北側の史跡保全ゾーンに本市が占有している環境学習池（ハート池）があり、池内は約20種類の絶滅危惧種植物が生育している特異な場所であるため、雑草の定期的な刈り取りや、池周囲に繁茂する桑の伐根作業を行い良好な生育環境の保全を行った。

(5) ヨシ焼き

貴重な湿地環境の保全、害虫の駆除、樹林化の防止等を目的に、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもとヨシ焼きを実施した。実施結果は下記のとおり。

日時	3月4日(土)8時30分開始 17時55分終了
主催	渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会
実施区域	渡良瀬遊水地全域
関係者等	○総数:約 720 人 ・古河市、栃木市、小山市、野木町、板倉町、加須市、利根川上流河川事務所、渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、各消防署、各警察署 約 200 人 ・渡良瀬遊水地利用組合連合会及び関係自治会 約 270 人 ・地元消防団 約250人
概要	○焼却面積:約 1,200ha (予定区域約 1,500ha の約 8 割) ○見学者数=2,800 人

(6) コウノトリ生息地環境整備

ふるさと応援寄付金を財源として、令和3年度に渡良瀬遊水地内2カ所に設置した人工巣塔周辺の環境整備を行った他、第1調節池内の人工巣塔に営巣をはじめたコウノトリを見守るため、旧谷中村合同慰霊碑敷地内に監視用カメラを設置した。

	寄附金件数(件)	寄附金額(円)
ふるさと納税	1,278	30,211,000

ハートランド城係

1 渡良瀬遊水地の普及・啓発

(1) ラムサール条約登録記念日、PR強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日をラムサール条約登録記念日、7月をPR強化月間として、各種PR活動を行った。

ア 栃木市役所 本庁舎への懸垂幕の掲示

・掲示期間 6月21日～7月31日

イ 栃木市内公共施設へののぼり旗の掲示

- ・ 掲示期間 6月21日～7月31日

(2) 渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

渡良瀬遊水地課公式ツイッターとインスタグラムで、ハートランドキャラクターが渡良瀬遊水地の「今」の情報を発信した。また、当初よりキャラクター制作に関わっている栃木女子高等学校美術部の生徒と協議し、新キャラクターを制作した。

(3) 渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみによるPR活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント自体への参加は限られたが、平成26年度に制作した<sup>ハーツ</sup>Hearts姫、<sup>わたらせナイト</sup>Watarase712の2つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント等に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのPR活動を行った。

(4) 「渡良瀬ナイトクラブ」の運営

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地をより良く活用するために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを運営した。また、紙資源の有効活用のため、会報誌である「渡良瀬ナイトクラブ通信」の完全メール配信化を進めた。

- ・ 会員数 一般会員 151人

特別会員 7人

サポート店 1店

- ・ ナイトクラブ通信発送回数 6回

(5) 小山市との連携によるヨシ灯り展の開催

小山市との連携事業として、両市が渡良瀬遊水地に自生するヨシを活用した「ヨシ灯り」を作成し、ライトアップを行った。共催3年目となった令和4年度は小山市会場で実施。初回の生井さくらづつみ公園から小山市役所付近に会場を移して開催した。

- ・ 実施日 10月15日（土）、16日（日）

・ 会場 小山御殿広場（小山市役所北側広場）

- ・ 来場者数 2,600人

(6) 渡良瀬遊水地キャラクターアニメーション放映

藤岡地域会議提案事業として制作した渡良瀬遊水地キャラクターによる渡良瀬遊水地のPR動画を、年間を通じて栃木ケーブルテレビにて放映した。また、動画を渡良瀬遊水地課公式YouTubeでも公開し、幅広い層にPRした。

- ・ 放送期間：5月13日（金）～3月31日（金）

・ チャンネル：コミュニティチャンネル（栃木：地上デジタル111ch）

- ・ 放送回数：47回

(7) 渡良瀬遊水地講演会

「世界湿地の日」を記念して、ラムサール条約湿地である渡良瀬遊水地の湿地の恩恵や価値に目を向け、その維持と賢明な利用について広く啓発に努めるため、講演会を開催した。

- ・ 実施日 2月5日（日）

・ 会場 藤岡文化会館大ホール

- ・来場者数 250人

(8) 恋人の聖地関連事業

10月1日に、渡良瀬遊水地及び渡良瀬遊水地ハートランド城が恋人の聖地に選定された。

- ・12月17日、18日 カップルフライト（熱気球搭乗）の実施  
19組38名が参加し、内2組が結婚した。
- ・2月14日 バレンタインフライト（熱気球搭乗）の実施  
4組8名が参加した。

2 渡良瀬遊水地の利活用

(1) 環境学習

ア クリーンメガSUPツアー

実施日	場所	参加人数	内容
6月11日（土）	谷中湖	12人	メガSUPに乗り、谷中湖畔のゴミ拾い

イ 夏のわくわく大作戦！親子水辺教室

実施予定日	会場	参加人数	内容
7月30日（土）	谷中湖	32人	植物観察、カヌー体験

ウ ツバメのねぐら入り観察会

実施予定日	会場	参加人数	内容
8月18日（木）	ハートランド城～鷹見台・池内水路	20人	ツバメの生態についての説明及びねぐら入りの観察

(2) 渡良瀬遊水地フェスティバル2022

- ・開催日 令和4年12月17日（土）
- ・会場 藤岡渡良瀬運動公園
- ・主催 渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会
- ・内容 スカイスportsやウォータースportsの展示や体験等
- ・来場者数 3,500人

(3) 春のサイクリングぐるり旅

- ・実施日 4月23日（土）
- ・会場 渡良瀬遊水地内第1調節池～第3調節池
- ・参加者 11人

(4) 渡良瀬遊水地ぐるり旅

5月から9月にかけて、各月異なるテーマで史跡保全ゾーン周辺を散策するぐるり旅を実施した。

実施日	テーマ	参加人数	備考
5月15日（日）	春の植物	13人	
6月19日（日）	治水・利水	10人	
7月17日（日）	ラムサール条約	9人	

9月18日(日)	ウォーキング	—	荒天のため中止
----------	--------	---	---------

(5) わたらせ熱気球day

渡良瀬遊水地のPR及び安全かつ気軽に熱気球を楽しむ機会を提供するため、渡良瀬運動公園にて毎月第3日曜日に熱気球係留飛行体験を実施した。

実施日	参加組数	参加人数	備考
4月17日(日)	52組	144人	強風のため中断 申込：58組157名
5月5日(木・祝)	42組	137人	特別日として、小学生以下の体験料を無料で実施
5月15日(日)	7組	23人	強風のため中断 申込：47組138名
6月19日(日)	12組	28人	強風のため中断 申込：20組56名
7月17日(日)	53組	134人	申込：62組185人
8月21日(日)	35組	95人	強風のため中断 申込：43組119人
9月18日(日)	—	—	荒天の予報であったため中止
10月16日(日)	61組	166人	申込：58組174人
11月20日(日)	52組	133人	申込：55組165人
12月18日(日)	44組	112人	申込：44組117人
1月15日(日)	17組	27人	強風のため中断 申込：32組81人
2月19日(日)	40組	116人	申込：43組125人
3月19日(日)	17組	22人	強風のため中断 申込：47組126人

3 人材育成

(1) 渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

渡良瀬遊水地の来訪者を案内するボランティアガイドを育成するため、養成講座を開催した。

- ・実施日 4月～12月の第4土曜日
- ・内容 渡良瀬遊水地の役割、歴史、自然について
- ・会場 ハートランド城、史跡保全ゾーン、他
- ・参加者 4人

・回数 9回

(2) 渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの組織運営の支援を行った。また、団体案内申込書の受付業務及びガイド担当者の調整も行った。

・ガイド案内実績

	谷中湖周辺	ハートランド城	合計
日数(日)	231	117	348
利用者数(人)	3,239	1,859	5,098

(3) 渡良瀬ヨシ愛好会の活動支援

ヨシ細工指導スタッフ養成講座修了者の活動を更に発展させるため、「渡良瀬ヨシ愛好会」の設立を支援した。設立後は愛好会の活用を図り、市と協働でイベントを実施したほか、多様な申込者からの依頼に応じてヨシ細工制作体験を行った。

・渡良瀬ヨシ愛好会活動実績

	作品展示	体験申込数
件数(件)	3	16
参加者数(人)	2,600	270

4 ハートランド城管理

(1) 施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物、駐車場及び施設内設備・物品の維持管理を行った。

・来館者数 約 4,200 人

(2) 施設の貸館状況

研修室の貸館を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
50	2,293	15,075